



1 文化祭 (芸術鑑賞会)

文化祭ではクラスみんなで協力して、劇やクラス企画を完成させることができました。各クラスの工夫が来場者にも伝わっていたようで、皆さんが楽しそうにしているのが印象的でした。準備は限られた時間でしたが、話し合いを重ねた結果、無事文化祭を迎えることができました。



今年度の文化祭は頭髪規定の緩和という新たな試みに挑戦した中、全校企画にも力を入れ、準備含め私の経験した文化祭で一番忙しいものになりました。当日、たくさんの生徒が全校企画として中庭に飾られたアンブレラスカイの下で笑顔で写真を撮ったり、眺めている姿を見られたのは、生徒会役員だけでなく、先生方、全校の皆の支えがあってこそだと思います。東高の皆の個性が見られ、次の行事が楽しみになる文化祭でした。

6/7 (火) 芸術鑑賞会「北斎マンガ」劇回わらび座

今年の芸術鑑賞会では劇回わらび座のミュージカル「北斎マンガ」を鑑賞しました。時は江戸後期、鉄蔵(のちの葛飾北斎)が妻・おことや周りの人々に支えられながら生涯にわたって絵師として奮闘する物語でした。劇中はヒップホップスタイルでラップが披露されて、とても楽しかったです。一番印象的で今でも口ずさんでしまうのが「ほっほっ北斎、かつしか北斎〜♪」という劇中に登場した歌です。初めて聞いたときは少しびっくりしたのですが、最後同じ曲を聞いたときは自然と手拍子をしてしまいました。劇終了後の帰り道も友達と一緒に口ずさんでしまいました。ぜひとももう一度見たいくらい面白かったです!



2 産業社会と人間

外部講師：山口 達也氏

「SMILING」では、高齢者向けのデイサービスだけでなく、訪問看護「やまの保健室」や、「おんぶだっこプロジェクト」など、高齢者の方や障がい者の方が地域の方やいろいろな人と出会える場をつくったり、社会で活躍できるようにしたり誰もが対等な人間関係を築けるような取組をしていることを知りました。講師の山口さんは私たちの進路について、「好きなこと、得意なこと、対価を得るに値すること、世の中が求めること、の4つの条件を満たす職に就くことができるとそれは生きがいになるから、それを探して欲しい」とアドバイスをしてくださいました。また、仕事をするうえではそこには必ず相手がいて、相手のことを考えて対等な関係で仕事をするということが、私にもできる大切なことなのだろうと思いました。まず、目の前の相手を意識することから始め、社会にも目を向けられるようにしたいです。



3 総合的な探究の時間

外部講師：小野 純子氏

今回の講演で、日本と台湾は多くの交流をしており、長い歴史があることが分かりました。また、現在でも多くの関りがあり、日本の企業がとても人気であることも教えていただきました。そんな日本と台湾の企業との間には、どのような関係があるのかまた、共同で取り組んでいる事業などがあるのか調べようと思います。さらには、日本が台湾を統治していた時代の産業と現在の産業はどのような違いがあるのか調べ、どのような発展を遂げたのかを知り、日本の産業にも取り入れられることがないか、活かせるところはどこかを考え、自分の将来やりたいことにも取り入れたいです。



4 美里交流館 (豊田市) きらめきコンサート 夢をつなぐ豊田東高コンサート♪

令和6年6月8日(土)に豊田市美里交流館にて「きらめきコンサート豊田東高校コンサート」が開催され、吹奏楽部・合唱部・箏曲部が演奏をさせていただきました。会場には多くの地域の方が演奏を聴きにきてくださいました。演奏後の地域の方との交流タイムでは、「今、高校生の間で流行っているものは？」などの質問があり、会場には和やかな時間が流れました。演奏を聴きにきてくださった方からのアンケートには「自分の高校生のころ部活に燃えていたことを思い出した。頑張っ、悔いのない学生生活を！」と嬉しい応援の声をいただきました。



5 先生紹介 久世 有希菜 先生 (国語科)

久世先生は、国語の先生です。論理国語の授業では久世先生の地元の作家である新美南吉の本「おじいさんのランプ」を実際にもってきてくださいました。他にもトルコに旅行に行った際のお話をしてくれるなど、とても楽しい授業をしてくれます。また、久世先生は私たち3年4組の副担任です。クラスでは朝のSTや帰りのSTをする時常にニコニコしていて、久世先生がいるだけでクラスの空気が和みます。特に金曜日の午後になるととてもウキウキ、ワクワクしている姿が生徒に人気です。

